

◆開催にあたって

山寺の開山は古く、貞観^{じょうがん}2（860）年、天台宗の僧、慈覚大師（円仁^{えんにん}）によると伝えられています。鎌倉時代には北条時頼によって禅宗への改宗を余儀なくされました。

戦国期、伊達方についた山寺一山は、大永元（1521）年、天童頼長らから襲撃を受け、破壊の限りをつくされました。その後、天文^{いっそうほうえんかい}12（1543）年、立石寺の一相坊圓海が立石寺を再建します。近世初期には最上義光の庇護を受け、朱印状によると寺領は合わせて1500石弱を数えました。その頃、天台宗への回帰を果たしました。

また、昭和7（1932）年に国の名勝・史跡の指定を受けています。

本展は、立石寺や山寺塔中寺院、山寺地区の方々に受け継がれてきた文化財や、山寺を中心とした遺跡・遺物・石造文化財などを展示し、その歴史と信仰をひもどこうとするものです。

本展を通して、これまで詳細な調査・展示が行われてこなかった山寺の魅力の真髓を感じ取っていただければ幸いです。

本展開催にあたり、全面的にご協力いただいた立石寺並びに山寺塔中寺院、山寺地区の方々などの関係各位、及びご後援、ご指導賜りました皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成21年8月

山形県立博物館長 佐藤広明

◆展示資料

- 木造大日如来坐像（山形市 立石寺所蔵）
- 磐司盤三郎木像（山形市 立石寺所蔵）
- 木製曼荼羅懸仏（山形市 立石寺所蔵）
- 木造釈迦如来坐像（山形市 個人蔵）
- 石造僧形坐像（山形市 山寺地区千手院町内会所蔵）
- 舞楽面（山形市 立石寺所蔵）
- 獅子頭（山形市 個人蔵）
- ムカサリ絵馬（山形市 中性院所蔵など）
- 山寺周辺の考古資料

など約 200 点

◆関連イベント

1 特別展記念講演会

（両日とも午後1時30分より）

◆8月8日（土）

「山寺と死者供養」

講師：鈴木岩弓 氏（東北大学大学院教授）

◆9月12日（土）

「村山地方の山岳信仰

—現世利益と先祖供養—」

講師：関口 健 氏（日本山岳修験学会会員）

2 現地研修会

◆8月6日（木）（午後6時より）

「体験！夜行念仏」

◆9月19日（土）（午前10時より）

（午前：根本中堂、午後：峯の裏）

3 展示解説会

8月15日（土）、9月13日（日）

（両日とも午後1時30分より）



平成
21年
8月
8日
（土）
8月
19日
（土）

山形県立博物館

◆山寺の風景

一山内の名所・旧蹟を写真パネルで紹介しながら、往古の霊地・霊場の風景を呼び起こします。



根本中堂（国指定重要文化財）



垂水不動尊（山寺峯の裏）

◆山寺の歴史

円仁（慈覚大師）の開山伝承から、波瀾万丈に満ちた山内の歴史を古文書や絵図、仏像などを紹介しながら解説いたします。



円仁置文写（貞観2（860）年）

（立石寺所蔵）



木造大日如来坐像
（山形市指定文化財）
（立石寺所蔵）



木造釈迦如来坐像
（個人蔵）



石造僧形坐像
（山寺地区千手院町内会所蔵）



木製曼荼羅懸仏
（山形県指定文化財）
（立石寺所蔵）

◆山寺の遺跡

山寺周辺の遺跡からは旧石器から江戸時代までの資料が採取されています。



所部遺跡出土旧石器（個人蔵）

地藏堂遺跡出土
縄文土器（個人蔵）

◆山寺の習俗—祈り—

山寺の夜行念仏や周辺に残っていた獅子頭、山内の坊（塔中寺院）にある「ムカサリ絵馬」など、山寺の習俗のいくつかを紹介いたします。



ムカサリ絵馬（中性院所蔵）



笹塔婆・柿経（立石寺所蔵）